３月号　令和７年３月１２日　発行

四中だより

朝霞市立朝霞第四中学校
埼玉県朝霞市栄町 5-1-60
℡(048)466-4711
Fax(048)467-4744

目指す学校像
生き生きと学び、夢と希望を胸に、感動を実感できる学校

「最後は人です」　～中学校卒業に寄せて～

校長　太田（おおた） 禎治（さだはる）

14 日（金）に第 48 回卒業証書授与式が行われます。３年生にとっては、義務教育９年間の節目となる大切な式です。中学校を卒業するみなさんにぜひとも伝えたいこと。それが「最後は人」なのだということ。

どういうことかというと、歴史の授業でも学習したように、人類はこれまで、非常に高度な文明を築き上げてきました。優れた技術も開発し、深海に潜ることや宇宙に行くことも可能になり、AI（＝人工知能）を駆使して絵や音楽で表現することも簡単にできるようになりました。

ただ、どんなに高度な科学技術を開発しようとも、それを使う側の人がどんな人なのかによって、技術は善にも、悪にも適用されうるのです。大切なのはどんな技術を開発するかではなく、それを社会のためにどう生かしていくかではないかと考えます。この「どう生かしていくか」の部分に、これまでみなさんが中学校で学習してきたことが少しでも役に立てば、校長としては、うれしい限りです。

卒業生のみなさんが、一人一人これから先どのような人生を歩むかは未知です。自分の希望通りにすすまないこともたくさんあることでしょう。どこかで悩んだとき、苦しくなったときには朝霞四中で学んだことを思い出して欲しいと思います。

「これからもずっと」　～記憶を受け継ぐ～

昨日３月１１日は１４年前におこった「東日本大震災」の日でした。本校でも発生時刻の午後２時４６分に合わせて職員、生徒で１分間の黙とうを行いました。

震災から１４年の歳月が流れ、気が付けば現在の中学１年生は当時まだこの世に誕生していませんし、震災当時教員ではなかった職員も増えてきました。この時期を除けば、日常生活の中で東日本大震災についての報道等に触れることは少なりました。１４年が過ぎたとは言っても、復興が完了したわけではありません。福島第一原子力発電所の事故も含め、まだまだ途中のものばかり。だからこそ、未来を生きる私たちにはこれからもずっと忘れてはいけないものがあります。

【「これからもずっと」忘れて欲しくはないこと】

残念ながら、月日がたてば、私たちの記憶は薄れていきます。でも、忘れないでください。
あなたの身近に、あの震災で大切な誰かを失った人がいるかもしれないということを。
あなたの身近に、あの震災で大切な故郷を失った人がいるかもしれないということを。
そして、多くの悲しみを背負って頑張って生きている人がいるということを。
忘れないでください。これからもずっと。